

## 租税教室、新しいパートナー

毎年、お声掛けいただいている租税教室。小学校6年生に税金のお話をさせていただいています。今年は、新たな方と一緒にさせていただき、発見がありました。

### ☆租税教室とは

「国税庁では、次代を担う児童・生徒等が、民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的に、租税教育の充実に向けて支援を行っています。

具体的な支援策として、税務職員、地方税職員及び税理士等の租税教室への講師派遣、学校教育関係者への租税教育セミナーの開催などを実施しています。」(国税庁ホームページより [https://www.nta.go.jp/taxes/kids/sozei\\_kyoiku/index.htm](https://www.nta.go.jp/taxes/kids/sozei_kyoiku/index.htm))

平成23年度から国税庁、総務省、文科省の3省が協力して租税教育の充実に向けて継続的に取り組んでいくことになったとのこと。実際には、地方自治体の税務課、法人会、税理士会などが担当して行っているようです。

### ☆新しいパートナー

今までは、課長さんと一緒に各小学校を回っていました。今年度は、課長が異動し、新規採用の2人が担当するという新しい考えで実施することになりました。

市の職員の方の出番は、①子どもたちが考えた税金の使途について、これは税金で賄っている、これは民間で。と説明する部分②クイズの解説をする部分③最後の「税金は社会の会費」を説明する部分があります。

この説明について、下準備をしてきてくださり、回を重ねるごとに分かりやすい説明になっていきました。もちろん、子どもたちもちゃんと聞いてくれていました。



\*子どもたちのキラキラした目や、話し合いの様子と、めきめきと上手になっていく説明。見ているのがとても楽しい機会でした。職員の方も終わった時の達成感を伝えてくださり、通常とは少し違う角度から見たお仕事で、ご自分の業務について改めて誇りをもってくださるといいなぁと思いました。

フレッシュな視点からの説明は、もちろん、私にも気づくことが多く、新しい視点をたくさんいただきました。お互いに刺激になったようで、うれしい時間でした。